

第17次中学生国際交流研修団報告記

ボンジョルノ イタリア



チエルタルド市に到着し、ホストファミリーと対面



お世話になったホストファミリーと



サッカーで交流を深めた団員たち



一緒に折り紙を折って日本の文化を紹介



↑お別れ夕食会で「甘楽町音頭」を披露
→ホストファミリーに法被と手ぬぐいをプレゼント



真実の口(ローマ)

◆ 渡邊英璃(2年)

たくさんの人たちと出会い、異国ならではの文化に触れることができ、とても良かったです。そして、海外への興味を今までよりも持つことができました。

◆ 山崎涼多(2年)

ホームステイは初めての経験で緊張しましたが、ホストファミリーの皆さんが優しく接してくれたので安心して楽しむことができました。

◆ 武田夏帆(2年)

イタリアの文化に触れたり、実際に聞いたりできて良かったです。最初は正直不安なところもありましたが、貴重な体験ができました。



第17次中学生国際交流研修団20人が8月14日から24日まで、友好親善姉妹都市であるイタリア・チエルタルド市やローマ、ミラノなどを訪問しました。中学生16人は、チエルタルド市内の家庭に6泊7日ホームステイをしながら、イタリアの生活習慣や食文化などを体験し友好交流を深めました。団長・団員の感想を紹介します。(敬称略)

◆ 団長 松井 勉 (町教育委員会 教育長職務代理者)

訪問中、第17次という歴史とその重さを感じる場面が幾度となくあり、交流の深さを実感しました。その一つで感銘を受けたのが、チエルタルド市長をはじめとする関係者の方々の温かさでした。特に中学生を受け入れていただいた

◆ 松本暖史(3年)

初めは不安や心配事が多くありましたが、でも、ホームステイ先の方が英語やジェスチャーを使って親切に対応してくれたので、とても楽しく過ごせました。

◆ 今成利夢(3年)

歴史的な建物や世界的に有名な絵画などをたくさん見ることができました。また、ホームステイを通して初めてのことをたくさん学ぶことができました。

◆ 板井 颯(3年)

今回の研修で、ミラノやローマではイタリアの歴史を学び、ホームステイでは文化や生活習慣をこの身で学べました。とても貴重な経験ができました。

◆ 新井翔天(3年)

最初はたくさん不安がありましたが、ホストファミリーの人たちが温かく受け入れてくれてとても楽しかったです。とても貴重な体験ができました。

◆ 飯塚真大(1年)

初めての海外だったので、分からないことだらけで不安でしたが、私たちが受け入れてくれたホストファミリーはとても優しく、不安もすぐになくなりました。

◆ 上條凱瑛(2年)

イタリアに行って日本とは違う文化や生活を知りました。いろいろな世界遺産を見て、イタリアでは貴重な体験ができました。良かったです。

◆ 田畑千穂(2年)

行く前は不安もありましたが、とても優しいホストファミリーに迎えてもらい、英語やジェスチャーで会話しながら楽しい時間が過ごせました。

◆ 山田日香梨(1年)

不安もたくさんありましたが、実際に行ってみると、不安もなくなり、楽しく過ごすことができました。貴重な体験ができて、とても良かったです。

◆ 板井煌雅(2年)

初めてのホームステイで、不安なことがたくさんあったけれど、イタリアの文化に触れ、たくさんの貴重な経験ができて、とても有意義な時間でした。

◆ 齊藤空恩(2年)

イタリアで一番心に残っていることは、イタリアでできた友達との交流です。言葉はわからないけれど、言いたいことは伝わり、とても楽しく過ごせました。



ミラノのドゥオーモ前で

イタリア滞在中の研修団の様子は、町ホームページでご覧いただけます。

